

風水地理学で読み解く、ふるさとの古代**—たま横山文化圏を中心に—**

講 師 松本 司

1 風水とは

風水——余り耳慣れぬ言葉だが、古代中国が源流の「住まいや墓の選地、配置の術」、「生者と死者の環境論」と講師はその著書の中で述べている。東アジアの人々の暮らしと共に芽生え、様々な概念や経験則を加えて成長し、太陽の出没方位や山並み、水流などに向けられた人々の観察眼が陰陽思想の発達と共に、風水を幸福追求の大樹に育てたという。

風水のルーツは陰陽思想に求められる。その基本理念は、万物全て陰陽二元の活力(気を帯びているとし、天の気の陽、地の気は陰、天から下り地から上る気が相作用し、相抱合して、人類及びその他の万物を発生する(二気が相作用して生命エネルギーが生まれる)とする。

風水は「四神(玄武、朱雀、青龍、白虎)相応吉祥の地」を原理とする。陰陽思想にいう陰陽が交叉する時不思議な霊力(生命エネルギーが生まれるのである)。たそがれ、夜明け、冬至、夏至などの刻の要素と、山頂、山の鞍部、山と里の接する所などの場所の要素が判断基準として重要だが、地上の在り様を見る形成判断と太陽などの天体観察からの方位判断の二面性を持った思想が風水なのである。

判っていることは暗黙知であり、判って貰うことは形式知である。判っていることを変換して人に伝える、判って貰うことが世の中で大切なこと。風水では、変換のための具として羅盤が古代より使用されている。羅盤は風水師の必携具であり方位占の必需品だ。風水思想による環境アセスメントのことを風水検分と呼ぶが、これは遠地法(山並み、水流などに着目し四神を確定して地上に領域を画する)と配置法(前後左右の四神を結んでできる交点を基準点とする基本原理)の二側面を持っている。香港の風水大家が、京都で、「四神柏市吉祥の地」を探り出したが、それは古図の大極殿所在地であった、と説明するNHK製作「蘇る平安京」のビデオを写しながらの解説。桓武帝は生命エネルギーの生ずる場所を基点と定め、風水の緻密計画による町づくりが行われた巨大都市、それが平安京なのである。

2 たま(玉)の横山と安閑天皇

日本書記に、武蔵国造争いの勝者から、安閑天皇に、横淳(よこぬ)、橘花(たちばな)、多氷(たひ)、倉櫟(くらす)の4屯倉(みやけ)が献上された記事がある(534年)。横淳は北武蔵横見郡(現東松山市付近)、他は南武蔵に所在とるのが通説であった。常陸国風土記では「よく淳(たまれる)水かな」と読む。横淳はナ行の音韻変化で横野になり、古代の町＝里山を考えると横山に転化するから、横淳も南武蔵の多摩郡内にあったとする蓋然性が最近高まっている。その地は、東京都と神奈川県の間を流れる境川上流を中心とした町田市、相模原市、城山町、八王子市に跨る広範な地域と考えたい。

この地域は古代道の結節地帯であり、安閑天皇を祭神とする神社も数多く存在するし、出土遺物から6世紀前半と考えられる武蔵岡遺跡もある。また、多数の未知の横穴墓群や小円墳群が存在し、須恵器は多くの場所で発掘されており、砂鉄採取跡も確認されている。古代史探求には古い地名が参考になる。天皇領であったことから「御田」の存在が考えられ、御田→三田→散田→山田と関連すれば八王子の広園寺付近もスポットが当てられ夢が膨らむ。いずれにしても、古代からこの地域には、かなりの人達が棲息し一つの文化圏を形成していたのでは、と推測できよう。

3 古代のロマンを求めて

「気は風に乗じて散じ、水に界られれば則ち止まる。古人はこれを聚めて散ぜしめず、これを行いて止めるあり、故にこれを風水と謂う」(葬経の一節)

昔の暦の正月元旦、川尻八幡の参道に立てば一の鳥居の中に太陽が昇る。参道を振り返れば、広く長いその延長線上にオタツゴ山(雄龍の山)が聳えている。橋本神明社の参道もオタツゴ山に向かっている。境川上流地域に風水のメスを入れてみると、周囲の山並みの中に青龍、白虎と推定される山容も発見できる。四神相応吉祥の地は何処にありや、玄武と朱雀、青龍と白虎を結ぶ交叉点には塞の神の塚が実在していた。

古代の人々は山並みや水流、太陽の出没位置などを観察する風水学に基づいて気の在処を探り、神々に守られた地を求めて都市づくりを行った。最近倉庫跡と推定できる人口的溝跡も発掘されている。全容が明らかになるには年月を要しようが、きらびやかな遺物・遺構のない地にも、古代の壮大な歴史は存在する。

ビデオ、スライドなどを駆使した視覚に訴えての講話であった。「歴史地理学の分野から暗黙知を形式知に変換させていきたい。古代の魅力、謎解き、宝探しが町おこしに繋がる活動をしたい。人生を楽しく生涯学習できたら」と講師は結んだ。

今回の講話では触れていないが、講師は「安閑天皇、あなたはヤマトタケルですか」という大ロマンも持っている。たまの横山、それは身近かな場所であり、映像だけでなく実際に現地に臨めば更なる認識がと、暫し古へのロマンをまどろんだ時間であった。

この稿、講話と講師の著した文献から作成した。(記録 石井 實)

講師略歴

1950年生まれ

町田市教育委員会生涯学習部

風水写真家

風水・古代史研究家

まちおこしコーディネーター

町田青年会議所「21世紀のまちづくりに活躍が期待されるトイップ(傑出した若者の意味)大賞」受賞

一枚の絵との出会いが、私の人生を変えた

講師 村内 道昌

司会 石井 充

講師と司会者は府立二中(現都立立川高校)の同窓の由。「家具は村内八王子」のコマーシャルで馴染みのある昭和44年設立(創業は昭和23年)の村内ホームセンター、現(株)村内ファニチャーアクセス(支店数7)社長。多摩地区の経済・文化をリードする指導者の一人。本店建物内に、東京都教育委員会から博物館相当施設認可(第1号)を受けた村内美術館を併設、その館長を兼ねている。

経営の話であれば辞退したが、趣味の絵についてという依頼であったので引き受けた。本物は持ち出すことは出来ないで、コピーを拡大したパネルを用い紙芝居風に話を進めたい。助手は当美術館の飯田学芸員。

私にとって絵との出会いは人生観を変える作用となる。村内ホームセンターは、家電、インテリアを含めた総合的なものを指向し、昭和46年に壁面の活用から「ギャラリー村内」を開設した。最初の出合いとなる絵は、ある画商が持ち込んだバルビソン派の、ディアズ・ド・ラ・ペニヤ作「マルグリット」、ひな菊の花占いをする可憐な少女の絵に魅せられ、コレクション第1号となった。それは昭和51年のことであった。その後バルビソン派への関心が高まり外国から文献を取り寄せ研究する。

海外でのオークションを知り、昭和53年初めて参加したロンドン・クリスティーズ・オークションでミレー「カルテの谷」デッサンを落札。同年末ニューヨーク・サザビーズ・オークションでミレー作品を狙うが失敗、代わりに別の画廊でふと発見したコロ作「ヴィル・ダブレのカバスキ邸」を入手した。(この絵は後日何倍かの高値で買い戻しの依頼があった) 名画購入の醍醐味に益々のめり込んでしまった。

昭和55年頃、パリの街角で立ち寄ったギュスターヴ・モローの美術館、画家のアトリエを利用した美術館に羨望と驚きを覚えた。これにヒントを得て昭和57年村内美術館(当初はアトリエ・バルビソンと称し、美術館・ギャラリー半々で運営をオープンし、小さくても中身の濃い、何度でも訪れたくなるような、コーヒーの香りのする、誰もが親愛する、地域文化の向上発展に寄与する美術館を志向した。

昭和60年ミレーの出世作「鏡の前のアントワネット・エペール」を購入し、その秋に「ミレーとバルビソン派の巨匠たち」展を開催し話題となったことは想い出深い。苦い思い出もある。昭和62年有名画商から正規ルートで入手した絵が盗品だったというコロ「夕暮れ」事件だ。ミレーの時と同じくマスコミの渦中の人となり大いに苦労し勉強もした。善意の第三者であった事が証明されるのに1年半要したが、この間にクールベ作「フラジェの櫛の木」等3点の名画も入手している。

平成元年パリ・ルーブル美術館にガラスのピラミッドが完成し「夕暮れ」を寄贈した。絵には「村内の好意による展示」とのキャプションが付せられているほか、ルーブル美術館から特別名誉会員にも列せられた。

「名画はドラマを背負って来る」のであり、一枚の絵との出会いは人生観も変える。正に「禍福は糾える縄の如し」を実感した。

昭和63年村内美術館は東京都教育委員会認可第1号の博物館相当施設となった。これは民営施設のみに与えられるもので、第2号は万世橋の鉄道博物館で第3号以下はまだない。美術館としての外観の他、展示室や絵画保存の収蔵庫、温度、湿度をコントロールする空調設備、学芸員の調査研究室、図書室、セキュリティ設備等、厳しい諸条件をクリアーして認可されるもので、美術館としてのステイタスが明確になったと思っている。

開館5周年記念で現在89才の老大家佐藤忠良展を開催した。勲4等、文化功労賞、文化勲章の受賞を何れも拒んだ芸術家で「文化に上下なし、それらは相応しい者が貰うもの、職人が勲章付けて粘土をこねられるか」

と述べられており、尊敬する人柄である。 クールベも反骨精神旺盛で「国家は芸術に介入するべからず」と勲章を拒否している。

一言余計なことをいう性癖が玉に傷と自認しつつ、最後に文化と街づくりに触れた。 パリの街並みの基盤造りは1850年代のこと。 金融の街フランクフルトも戦後の間に合わせの復興を経て、一人の傑出した先駆者の指導により、美術館等を河畔に沿って点在配置した文化の匂う素晴らしい街並みに変身を遂げた。 50万都市八王子も将来に向かった新しい街づくりが求められている。 しかし、過日改訂発行された八王子の観光マップには、タヤけの里は載っていても村内美術館は掲示されていない、と風刺の言葉で締め括った。

(記録)

海外旅行豆知識

話し手 田子 稔

司会 松尾 信一郎

話をする人：鳥取県生まれ。元日本航空参与、約10年間米国に駐在する。座右の銘は克己。趣味は書道、写真、将棋。書道に関しては造詣が深く蒐集品も多数所蔵。

年末年始、ゴールデンウィーク、盆休みなど、海外へ向けての日本民族大移動は年中行事の一つとなりニュース性も希薄になってしまった。文明の発達に加え、国民性である物見高さ、仲間内の競争意識(見栄、或いは豊かさの故なのか。しかし、世界が狭くなればなるほど異文化に接することが必要となる。海外旅行経験者は着実に増加しており、コトバの不自由さはさておき、文化の異なる外国で心細さを感じたり、戸惑いや恥をかい経験は、程度の差はあれ誰しも持っている。パック旅行のパフレットや添乗員が教えてくれないこと、旅行先の日常行動で極力失敗を少なくするためのアドバイスである。

数多くの項目にわたる説明があったが、Q&Aのあったものを含めてその一部を紹介する。

1 出発前に

- ①旅行の目的をはっきりさせて、訪問国の国情、歴史、地理、経済、民族等について調べることが大前提。訪問国の治安状況は外務省邦人保護課(海外安全相談センター Tel 03-3581-3749)へ問い合わせる。
- ②旅行業代理店を利用する場合は、契約解除、払い戻し等旅行条件を納得できるまでチェックし慎重に選ぶ。万一に備えての海外旅行傷害保険は、障害・疾病・賠償責任・救援者費用・携行品をセットにして7日の旅行で保険料約1万円。
- ③パック旅行でもホテルは重要、まして個人旅行では慎重に選ぶ。中級以上のホテルが安全、ホテルは旅の主役だ。手荷物は預けるスーツケース1個と座席に持ち込むショルダーバッグ1個の計2個がベター。訪問国の気候や昼夜の温度差を調べて旅行着を決める。着替えは少なくしたいが、高級レストランや劇場ではセミフォーマルな服装が必要となるので留意する。所持金は、現金は米ドル小額紙幣、トラベラーズ・チェックが安全で小額か中額を、クレジットカードが一般的である。

2 旅先で

- ①スリッパ、アイマスク、小型ミネラル飲料、化粧品等は持ち込み用バッグに。機内湿度15%、エコノミークラス症候群予防には足のマッサージと水分補給が効果あり。なお、常に軽くシートベルトを。
- ②当然ながら貴重品は身に着けておく。到着時のタクシー代、ホテルでのチップ等のため、出発前に小額の現地通貨の用意も忘れずに。
- ③ホテルでは自室以外は公共の場所、日本とは違うのでルールは厳格に。ボーイが盗む場合もあるので貴重品管理は自己責任で。使用済みタオルはそのまま洗面台に放置。
- ④レストランは必ず予約する(服装注意)。テーブル毎に係が決まっており、なるべく音をたてずに食事、物を落としたりウエーターに。勘定はテーブルでその係に(チップを忘れずに)。
- ⑤ショッピングは事前に老舗・専門店等調べておき、特別な物以外は空港内免税店を活用。
- ⑥チップは心付けや施しでなくサービスへの謝礼。タクシーは料金の10%、レストランは勘定書の10~15%、クローク(受けとる時)、ポーター(荷物1個に付)、ルームメイト(毎朝)、ボーイ(用が済んだ時)、ドアマン(タクシーを呼んで貰った時は各1ドル、トイレの管理人へは出る時小銭を。

3 その他

- ①入国審査時の質問は大体名前、旅行目的、滞在期間、滞在先の項目。
- ②事故に備えて、最寄り日本大使館・領事館、利用航空会社、カード会社等の所在地やパスポート、カード等の番号を控えておく。パスポート用写真2葉も持っていたい。
- ③長さ、重さ等の換算表があると便利。

最後に米国西海岸を巡る旅の主要部分についてビデオ解説があり異文化を垣間見た。

(記録 小阪 善治)

米沢藩を救った上杉鷹山

話し手 吉田 信夫
司 会 野口 正久

話をする人：米沢の出身、幼児より上杉鷹山色の環境下で育つ。元東芝医用機器事業部管理職。趣味は囲碁、ジョギング(フルマラソンにも出場)、油絵(グループ虹)に加え、熟年暴走族を自認する。

1 米沢藩貧困の背景

1598年、越後から会津120万石の領主に移った上杉藩は、関ヶ原の役で西軍に荷担、ために1601年、米沢30万石に移封される。その折、士族約5,000人は共に米沢に移住、財政維持のため彼等の家禄を1/3に減じた。移封後1638年、米沢藩は領内の検地を行うと共に、租税率を強化(年貢37%→48%)、徴収方法も米・銀半々の半石半永制を採用、その後も率の引上げや御買米制度強化を実施し、賦課の対象は穀類以外の藁、糠、笹等にも及んだ。1664年、藩主急逝に伴う養子擁立による改易逃れのため、米沢藩の石高は半分の15万石になり、家臣の知行も半減し藩財政、領民共に窮乏し始めた。1750年には家臣から知行半分の借上げが開始され、これは以後73年間も続いた。米沢藩の石高に対する武士の割合が他藩の3倍以上であった事実も大きな因といえよう。一方農民に対する搾取強化は続けられ、間引き、逃亡等による農業人口の減少があり、農村は荒廃し年貢滞納が増大していった。更に、1753年、藩財政の3倍以上に相当する東叡山等修復費用を賦課に加え商人から借用、家臣の知行半分の借上げ等で賄う、1755年から3年続きの大凶作のため農民の逃亡等6,100人もあり、藩の財政は破綻した。藩は領地返上を幕府に申し出るも慰留されている。

2 明和・安永の改革(1767年～)

1767年、鷹山17才にして藩主となり・菁莪社中の人材を登用し改革に着手。藩主自身の儉約、豪商借入金による財源確保、殖産興業(漆等植栽・縮織導入等)等であったが、借金で進めた殖産興業は即効性を欠き、狙った漆蠟は蠟蠟に、麻は綿に押され目的を達し得ず、天明年間の凶作もあって借金を残して改革は挫折。鷹山も35才で隠居した。

3 寛政の改革(1791年～)

鷹山再び表舞台に復帰、家臣全員から藩政や政治改革に関する意見書を求め、有能な士を登用し1791年「財政16年の基本組立」を立案する。主たる柱は①歳入を半分の7万5千石とする予算を策定、経費の圧縮と行財政のスリム化を図る。②貸出し米・銀の返済猶予・免除による家臣の救済と米預礼一斉買い上げによる米価対策。③滞納年貢の取立て延期・放棄、米以外の年貢の廃止・軽減、割地(逃亡断絶等で放置された田畑)の再生、飢饉に備えた糶蔵の設置等の農村復興と勸農政策。④他国より専門家を招き生糸、絹織物の生産を図り流通を統制(織物は家臣の家内工業として発達した)等であった。

鷹山他界の1年後、着手より33年を経た1823年、11万両の借財を皆済し5千両の備金を保持、家臣からの知行半分借上も銀方のみ解消等、改革は一応の成功を見る。極端な緊縮財政と家臣の協力、生糸・絹織物の生産急伸が収益を増大、農業活性化(米の石高実質28万石に増加)等が財政建直しの成功要因であった。

何故農民の帰国増大があったのか。これに対して他の参加者を交え経営学、経済学のサイドから意見の交換があった。また、複数の参加者から貧困の最大原因は士族5,000人の移住、リストラの不実施との指摘があったが、正鵠を射ているがテーマに関して建設的か否か疑問も残った。アサヒビールの業容拡大は社員の鷹山研究が因との話も飛び出したが、鷹山を範としても33年の時間的余裕が果たしてあるだろうか。

今年の正月、米沢は数年振りの大雪に見舞われ甚大な被害を蒙った。山形新幹線もストップし筆者もその渦中にあった。

(記録 石井 實)

八王子市長房町にあった東京陸軍幼年学校 その栄光と滅亡

話し手 石井 充

司 会 渋谷 文雄

話をする人：八王子生れ。 敗色濃厚の終戦前陸軍幼年学校で学ぶ。 好きな言葉はラ・ロシュフコーの「見詰められぬものが二つある。太陽と死」。 勝負事一切に通じ山口瞳や山本周五郎を愛読、自称日記狂い。 塗料商を営む。

先ず出席者の年令構成から入った。「幼年学校」とどの位「距離」があるのかを計ろうとしたのであろう。昭和5年以前に生まれた人は僅か4名に過ぎなかったから、概ね歴史的事実と捉える人が大半だったといえようか。

明治30年に開校された幼年学校の設立の経緯に触れ、当時の国際情勢や富国強兵の国是に沿って、東京をはじめ北は仙台から南の熊本まで全国に6校(生徒数250名)でスタートしたが、昭和2年頃には「軍縮」のため東京1校だけになるなど、時流に応じて縮少と拡張が繰り返された歴史を説き、日露戦争・第一次世界大戦・日中事変等大きな節目節目には何れも間に合わなかった皮肉にも触れた。 因みに在籍していた終戦時には生徒数1,600名に膨張していたが、勿論これとて戦力たり得なかった。

幼年学校には、尋常高等小学校2年(旧制中学からは2年)から入学する建て前で、その競争率は大体9倍であった。 当時の府立一中(現日比谷高校)の競争率は4~5倍であり、それでも府立中学の増設が検討されていたことをみても異常な競争率といえよう。

東幼は昭和19年戦争激化に伴う疎開で八王子に移転したのであるが、翌20年8月の八王子大空襲の際被災焼失した。 この跡地に、戦後建設されたのが長房団地である。(各地の幼年学校も夫々疎開移転していた) 当時の施設配置図に基づく回想のあと、生徒富田某の当時の日記の一部の紹介があったが、中学年生とは思われないしっかりした筆致に驚かされる。 また「シバタ助教(下士官)」が空襲で待避の際、鉄帽を生徒に貸し自らは無帽となったため被弾、不帰の人となったエピソードも披露された。

また、5月25日楠正成が湊川で戦死した故事に因む「楠公祭」に、空襲下にもかかわらず奥多摩の吉野郷から来校した吉川英治が、「万世一系」の皇室を否定する記念講演をしたことも感銘深く忘れ難い憶い出であるという。

レジュメによれば、この後「生徒・教官」の戦後の生きざまに触れ、副題の「栄光と滅亡」は完結するのであろうが、残念ながら割愛となってしまった。 しかしながら、55年前の「東幼生活」に夢とお伽の世界の追慕を感じた一刻であった。

Q：当時の東幼での食糧事情は？

A：軍関係だからといって特別待遇はなかった。 演習場の周囲で作物も栽培した。ただ学校としてストックは当然あったと考えられ欠食ということはなかった。

また、予科練出身というAさんから、「長男」ということで出撃が順送りになり命を永らえた。 同期の殆どが戦死した戦争の凄惨さを語る回顧談の披露もあった。

(記録 向山 光春)

ITで何ができるか（現在と未来）話し手 **檜山 竹生**司会 **北川 博孝**

話をする人：東京八王子南ロータリークラブ会員。ロータリークラブのマルチメディア特定委員会委員長。
20年以上の次世代電話の研究開発で八王子市内だけでなく、中国、台湾、欧州にも拠点を持ち活躍中。

はじめに

IT (情報通信技術) という言葉や単語をマスコミや話題の中で聞かない日は無い程になっている。世界中も国をあげての合戦で盛り上がっている。しかし、この魔法のようなITという言葉は、一体何で、誰のために、どのように使えるかに関して、明言しているところは皆無といっても過言ではない。専門家の中でも、普及や応用に関して種々な議論が交わされていて、言葉だけが先行し「ITをやらねば遅れをとる」「ITは儲かる」といった誤解や懸念を招いている。

1 IT (Information Technology) とは

情報を伝達していく技術、効率よくする技術であるが、すべての個人、社会、学校、各機関等がオンライン化されれば、居ながらにして情報のやり取りが出来る環境が創り出される。そうになると何が変わるのか。例えば、昨今盛んに行われている金融機関の店舗統廃合から更にインターネットバンキングへ、コンビニ銀行、ネット銀行が一般的になってくる。技術の進歩開発によって、情報通信は何時でも、誰とでも、もっと鮮明に、より早く伝達が可能になる。テレビ電話の本格的運用とか、好きな番組や音楽を自由な時間に観られるテレビの双方向化も実現する。お金の形態も変化し、携帯電話やカードに記録され代用されるようになるし、役所の機能も変わる。印鑑証明、住民票、登記簿謄本の取得、各種台帳の閲覧、各種申請等の即時利用が可能になる。保険証がカード化されれば、個人の疾病情報は何処のドクターにも瞬時に判るし医療ミスの軽減に繋がる。教育も公開された授業、生涯学習や好きなカリキュラムでの在宅学習も可能となり変化する。

2 e-Japan戦略重点計画骨子

政府は今後総額20兆円を超す投資を目論み世界最高水準の高度情報ネットワークの形成を目指している。教育及び学習の振興と人材育成、電子商取引の促進、行政の情報化及び公共分野での情報通信技術の活用推進、高度情報通信ネットワークの安全性及び信頼性の確保、研究開発の促進、デジタルデバイドの是正などがその骨子になっている。

政府はITで何がしたいのか。公務員の削減（10年以内に1/10に、20年以内に準公務員を含め1/100）にと政府・地方自治体の財政再建である。規制緩和、縦割り行政、言語の問題等からITに関しては日本は後進国。韓国ではインターネットの普及率は90%に達しており、香港では全員がカードを保持している。

米国は決して先進国でなく、北欧諸国は携帯電話の普及とインフラの整備を行っている。

3 IT時代の問題点

プライバシーの漏洩、ミスによる問題の拡散、情報の改ざん、対人関係形成の弱体化等ITは諸刃の剣でもある。ITの目指すものは時間・距離を限りなくゼロに近づけることであり、それにより真の自由な時間を取り戻して、より人間的な生活「クオリティー・オブ・ライフ」の実現を図ることにある。

おわりに

シリコンバレー(米国)、バンガロール(インド)、新竹サイエンスパーク(台湾)、ハイファ(イスラエル)が世界のハイテク都市。日本のハイテク地域は、北海道札幌バレー、渋谷ビットバレー、八王子情報特区である。安価に利用できる場所であること、教育機関があること、地域としてある程度の環境があること、地域が豊かであること、シンボリックな成功企業があることなどがハイテクバレーとなる重要条件である。

八王子は将来性、可能性に満ち溢れた地域である。

(記録 小阪 善治)

プレイングカード（トランプ）の世界

話し手 堀口 進

司 会 大野 聖二

話をする人：八王子出身。元中学校校長、メルボルン・スインバン大学非常勤講師。趣味はプレイングカード（トランプ）の収集と研究。トランプ購入のみを目的として外国へ行ったり、自宅一室を私設博物館として約4千のトランプを展示など趣味の域を脱している。

欧米の国々と比べ、日本のトランプの歴史は浅く、殆ど単一の形態である。日本では伝統的な百人一首、いろはがるた、花札等が古くから愛好されてきたためとも考えられる。これ等は世界に類を見ない独特のカード遊びである。

1 トランプの起こり

種々な説があるが、何れも憶測の域を出ず確実なものとはいえない。

- ①十字軍説：十字軍が持ち帰ったとする説だが、最後の十字軍と欧州のトランプ知識の流行とは100年の差あり。
- ②中国説：百科事典に類似記録があるが、西欧のものとデザイン、パターンが相違、18世紀には消滅。
- ③インド説：16世紀初頭の文献あり。
- ④ジブシー説：インド地方で発祥か。
- ⑤イスラム説：ヴィテルボ市の歴史で1979年にもたらせたとある。
- ⑥マムルークカード：トルコからエジプトへ来て奴隷階級から後に支配属になったマムルーク人の作。

2 各国のトランプ

- ①イタリア：マムルークカードが最初に伝わった地である。組札の図柄については、2グループに大別できる。
 - ・初期のデザインに似た伝統的な模様であり、最も多く使われている。
 - ・単純な模様で、スペイン、ポルトガルのもものと似ている。また、19世紀末頃よりダブルエンディットが主流となっているが、それ以前にはシングルエンディットのものも見られる。
- ②ポルトガル：イタリアのスタイルの影響を受ける。エースに「龍」を使用、日本のトランプに影響を与えている。
- ③スペイン：古い組札をそのまま使用。ナポレオンの侵略からフランスのハート、クラブ、ダイヤモンド、スペードと同一になる。
- ④フランス：ドイツと同時代に移入された。ハート、クラブ、ダイヤモンド、スペードは今日国際化しているが、当時のパリでのデザインは各国で大人気であった。
- ⑤イギリス：15世紀中頃からトランプの生産が始められた。しかしその後のカードは「悪魔の発明」と非難され禁止令が出る。それでもカードはイギリス国内に移入され続け、ホイスト、ブリッジのようなゲームの元となる。
- ⑥アメリカ：イギリスのカードにジョーカーが付け加えられた。
- ⑦ドイツ：イタリアの戦争から帰還した兵士が持ち帰ったものだが、国内で爆発的な流行となった。カードの印刷技術では世界の中心となる。
- ⑧その他：スイス、オーストリア、ハンガリー等でプレイングカードは作られ、夫々の説明があった。

3 日本への伝来

オランダ人説、ポルトガル人説があるが、時期は16世紀頃である。南蛮カルタは伝来カードで、日本で製作されたものは天正カルタ。トランプという名称の由来は、上方屋前田善兵衛(大阪の木版印刷屋版元)に因るが、トランプは上流階級で呼ぶイギリス製の上等品を指し、カードは下品な呼び名とされていたこともある。明治10年輸入自由化となり、日本製のトランプは明治35年任天堂により製作され、その後プレイングカードのイメージやキング、クイーン、ジャック、ジョーカーの呼称も定着していった。

4 トランプの遊び方、楽しみ方

司会者によるトランプを使用した数字選びマジックの実演があり、喝采を博した。

トランプの歴史については、未だに議論されている。長い経過の中で遊び方、楽しみ方はバラエティ豊かとなり、ブリッジ、ポーカーその他多種多様な楽しみ方が出来るようになってきている。

(記録 大串 延子)

八王子の大学あれこれ

話し手 松本 一夫
司 会 小山 祐三

話をする人：東京都出身。元共立女子学園理事・事務局長。共立女子大学八王子校舎事務長在職中から八王子市学園都市づくりに参画する。友愛がモットー。趣味は音楽鑑賞、ギター演奏、ゴルフ。

東京の西部八王子市は政治、経済、文化、産業の分野において、この地域のリーダー格としての役割を果たしている。ポーニャ(イタリア)の昔からヨーロッパ、アメリカでは、大学は都市の重要な景観として、都市の一番良い場所に在り、都市を象徴するキャンパスがある。日本だけが街外れに小さな大学を作った。(最近では、大学は都心に戻すべきとの声も高くなっている)

50万都市に発展した八王子には、22校の大学・短大・高専が進出し、学生数は10万900人に達している。中央道から以北に6校・3万人。高尾を中心とする西部地区に4校・3万人。横浜線・京王線沿線に12校・5万人といった配置である。(このうち八王子市内に生活の基盤を持つ学生は約3万人位といわれる。最近の学生気質として、登校の頻度、アルバイト機会の多少、娯楽施設の充実などが直接間接の理由といわれている)

戦前の大学は広い校地を持ち、市街地に存在したが、戦後「工場等設置制限法上により大学の拡張や新設を市街地で行うことが禁止されたため、工学院大学が昭和38年八王子の現在地に移転したのを矯始として以後続々と移転又は新設されたものである。

これに伴い市民・行政・大学が互いに相互理解を深め、一つになって学園都市づくりを考える組織として「八王子市大学連絡協議会」が昭和52年に、その実行機関として「学園都市友の会」(現在の学園都市推進会議)が昭和55年に、さらに行政を外した「大学連絡会」を大学側のみで結成した。

これらの組織が十二分に活躍し成果をあげたとは言い難いが、

- ①八王子学識センターの設置
- ②市民一日大学の開校
- ③各大学での公開講座の開設
- ④学園都市センター設置

等の事例があげられよう。

少子化傾向により18歳の大学進学適齢期人口の減少は顕著であり、大学の定員割れは28%、短大のそれは50%との試算もあって、地域社会と大学・産業界や行政と大学の交流を深めることは当面の焦眉であるといえる。

京都には40の大学があるが、これらが協力して京都駅前に6階建てのビルを建設、夫々の講座を公開して地域社会との交流に成功している事例など参考としてよいであろう。(この公開講座は、東京に進出する計画もある由)

出席者の中で市の教育委員会関係者や学校教育に関係した多数の方から、過去の体験に基づく発言も数々あったが、何分にも複雑かつ多面的な問題であるためか、結論らしきものは得られぬままに終わった。

(記録 向山 光春)

魅 惑 の 花 「椿」

話し手 土井 俊玄

司 会 広瀬 智子

話をする人：八王子の出身。元中学校校長。 千人町在、興岳寺(千人同心縁の由緒のある曹洞禅寺)住職。
趣味は動植物の飼育栽培で、椿との出会いは深大寺植物園の椿展で求めた一冊の本と一本の苗木、
爾来魅せられて30有余年、現八王子椿同好会会長。

じっくりと椿を栽培し鑑賞できるようになったのは退職後の由。 自宅で挿し木から育成した椿鉢を持参展示し、花名からそのルーツまでスラスラと説明、椿への造詣が深い。

1 日本の椿

椿の栽培と鑑賞に関しては日本は欧米より遥かに長い歴史を持つ。 茶の湯文化と一体化して特異な椿文化を形成する。 茶の湯は侘び寂びの自然を大切にし、自然の中に花を観る。 これが欧米とは違う点で、京都の寺社には侘助や白玉椿の銘木、古木が残っているし、茶花として残る著名品種も今日まで受け継がれている。日本の椿には侘び寂びの過去の伝統に支配される部分が多い。

日本の椿の特徴の一つは日本人好みの品種は圧倒的に一重咲き(花弁数6～8枚)であること。 日本の種苗店頭では3/4が一重品種だが、米国著名農園産では一重は1割に満たぬ。 また、自然実生が大部分であることも特徴。 自然との一体感を大切にし、自然を征服改良することを好まぬ故、庭先に自然に生えたものとか野山のヤブ椿より選別されたものを日本人は好む。 同一花を増やすには挿し木、接ぎ木の手法を用いる。

2～30年前洋種が流行したが現在では再び一重品種、侘助品種が全盛期を迎えている。 日本の野山に自生するツバキ属はヤブ椿、ユキ椿、サザンカ、ヒメサザンカ(沖縄産)の4種で何れも固有種。 世界6千種の椿は2/3が日本のツバキ属の交配種である。

○侘助・葯退化品種群

侘助の名が付くと園芸店の売行きは良い。 花付きが良い、花が小さく愛らしい、小型で鉢物向き等がその理由だが、侘助椿には有楽起源の侘助とヤブ椿起源の侘助2系統がある。 前者は青味がかった花色で分類学的には独立種扱いだがルーツには謎がある。 後者は野生種の中から葯が退化し、花粉のない花を咲かせる枝変わり等が生じ、母樹より花が小さく侘助を連想させるものだが遺伝学的にはヤブ椿そのものである。

2 洋種椿

○ジャポニカ系交配種

海外で作出されたヤブ椿、ユキ椿系品種の交配に起源する品種群。 洋種全体の7割を占める。 樹姿整い多彩な花形を持ち青、黄を除く花色がある。 日本の黄色椿は世界に誇れるものだが、今後の育種の課題は種間交配で欧米の得意とする分野。 日本は遥かに遅れている。 洋種椿に蓄積された膨大な遺伝子はあらゆる可能性を秘める。

○唐椿系交配種

ジャポニカ系では花の大きさ豪華さに限界があり、中国産を基に作出されたもので豪華で大きな花が着く。 樹姿は優美さに欠け、露地栽培は難しく鉢植えは持て余すことあり。

○それ以外の交配種

ツバキ属のあらゆる原種に育種の可能性を見出し交配に活用するもので、英米両国で研究進み、この種の

最大派閥はサルウイン系交配種。（色合いは透明度高く日本人好みの色）

Q：茶毒蛾に悩まされるが。

A：5月と7月が発生期、事前に消毒薬散布が良策だが幼虫発見時には殺虫剤、殺菌剤を散布（庭木は枝を切り落とし焼却も可）

Q：挿し木と花芽

A：挿し穂は春に伸びた新梢、ハサミによる水平切りがベター、適期は梅雨頃。用土は排水よく適度の保水性あるもの。鉢上げの用土は同じ用土。通常3年で開花、6月上旬頃水を控え目が花芽のコツ。

椿栽培に挑戦したいとする者約半数あり、魅せられたファンも増えよう。

（記録 石井 實）

ワインの楽しみ方

話し手 神山 晴雄

司 会 宮崎 浩平

話をする人：八王子南ロータリークラブ会員。 キプロスワインの唯一の国内輸入元である京晴(株)代表取締役社長。 ワインに関し40年以上のキャリアを持つ。

ワインとは農産物から作る酒であり良いワインは人が作り上げるもの。 どんな所で栽培された、どんな品種のブドウかが重要になる。 理由は判らぬが栽培された畑によりその味は全く違う。 酒には醸造酒(ワイン・ビール・日本酒)と蒸留酒(ブランデー、ウイスキー)がある。 蒸留酒は樽詰で長年熟成すると美味になるが、ワインも熟成で美味になるものもある。 ワイン1瓶(750mlが標準)に要する原料は1kgのブドウだが、欧州のワイン法では収穫したブドウをそのままワインにするので9月の収穫時しか醸造できない。 これが本来のワインだが、ワイン法によらない英国、日本、米国、カナダではブドウから作られた水飴状の果汁液に水と酵母を加え製造するので一年中生産できる。 国産ワインの表示で「ブドウ100%」とあるのは新鮮ブドウ100%から作ったもの(9%)、「国内産ワイン」は濃縮ブドウ液から熟成したワインである(90%)。

新しいワインか古いものが良いかは一概にいえずワインの質による。 ボルドーの赤ワインには長年熟成すると美味しくなるものがある。 ワインの楽しみ方は、まず飲んで旨い不味いを味わうこと。 栓のコルクはワインの熟成に役立っている。 ワインの風味を表現する言葉で、アロマはブドウの品種の持つ味と香りを表し、ブーケはワインの樽での熟成過程で生まれた新たな味と香りを表す言葉。 また、長年熟成させるには酸化防止剤が不可欠。 ラベルに酸化防止用無添加とあるのは間違い。 味を良くする働きと腐敗防止の役割を持つから、加工食品の如くその使用がないから「健康に良い」はワインには当てはまらない。

●試飲のワイン

①アスティー スプマンテ(伊ピエモンテ州 モスカート種の発泡酒)

シャンパンを思わせる蜂蜜のような甘口ワイン。 最初の一口が美味しい。

発泡性ワインの第一人者は仏のシャンパン。 シャンパーニュ地方で作られたもので、他の地方の製品はシャンパンとはいわぬ。 ポートワインのようにその土地の名前が付く。 仏コニャック地方生産のブランデーがコニャック。 同地方の農家生産ブランデーをブレンドしたものがヘネシー、レミーマルタン、クルボアジェで、これはボトル会社の名前。 コニャック地方はワイン法を厳守、グランドシャンパニユーのコニャックは最高品。 英スコッチウイスキーも添加物で味付けしない、樽詰め熟成、原料は穀類という法を遵守している。

②ボージュール シャルドネ(仏ドツク シャルドネ種)

白の辛口で口当たりが良い。 シャルドネはブドウの品種であり世界的なワイン品種。 フルーティという他に南方系のフルーツ味の濃い果実のエッセンスを感じさせるのが味の特徴。 ソービニオンブランは仏のサンセール、プイメイ地区で生産。 ブルゴーニュでは殆どがシャルドネ種のもの。 ボルドー地区の白ワインは両者が混醸されて作られている。 元来、仏ワインはブルゴーニュとボルドーのものが主流、前者はパリに近くワインの王様といわれ、一時英国領でもあった後者はワインの女王といわれている。 白ワインの楽しみ方は最初の冷えた時の味を覚えておき、全部を一度に飲まず後からもう一度飲むことだ(温度により香りと味覚は確実に違う)。 またワインの感想は先に言った方が勝(そう思ってしまうから)。

③ポージェール カペルネソービニオン(仏ドック カペルネソービニオン種)

赤ワイン。 チーズと一緒に味わうと美味(但しテイスティングにはチーズは厳禁でパンと水を用いる)。
仏の代表的赤ワインはカペルネソービニオン種とメルロー種。 ボルドーの赤ワインは前者70%、後者30%の混醸が一般的である。

●テイスティング

- ①そのまま眺める。 白ワインは透明で透き通っている。(病んでない証拠)
- ②香りを嗅ぐ。 香りをたてるにはグラスを外から中に回す。

●赤ワイン

そんなに冷やさない(含まれている乳酸は冷やすと苦みがでる)。 空気を入れると味がまるやかになるので飲む30分前に栓を抜く。 チーズと相性良し。

●白ワイン

思い切って冷やす(含まれているリンゴ酸は温度が高くなるとボケた味になる)。 温度による味と香りが楽しめる。

Q：価格によるコルク栓の差は？

A：長いコルク栓の方が高価

Q：飲み残しワインの保存期間は？

A：赤ワインは1週間位可、白ワインは飲み干すこと。

Q：保存温度は？

A：一定温度での保存に努める。 冷蔵庫は庫内温度が変化する上、振動もあり不適、半年で品質劣化。 ワインセラーでなくても縁の下で可、地下室でもあれば10年以上保存可能。

Q：有名ワインは高価？

A：同一会社の製品でもセカンドラベルのものは1/2程度の価格、目隠しで飲み別けはできぬ。

楽しい雰囲気の中での試飲後、使用ワインの価格当てクイズとなったが殆どの方は京晴(株)販売価格より高い価格を想定していたのでワイン買付けのノウハウも披露された。

参加者全員いっぱしのワイン通の気分になったのでは…………。

(記録 吉田 信夫)

モンゴルおもしろばなし

話し手 桂 元三

司 会 大山 泰

話をする人：山口県生。毛利藩桂氏の後裔。元東京造形大学事務部長。退官後印刷技術指導でモンゴルを訪ねたのが契機で、平成10年八王子モンゴル親善協会を設立し、モンゴル支援に情熱を傾けている。当クラブの大先輩でモットーは「最善を尽くす、諦めない」。元少年飛行兵で歴戦の勇。東宝映画「燃ゆる大空」は桂氏がモデル。写真(航空撮影)が趣味。

1991年ソ連の崩壊により独立・民主化したモンゴル国。貧しいながらも大らかなモンゴルの人々と大草原に魅せられて、この10年間に5回訪問した。第3回生涯学習サロンでは、モンゴルのグル(住居と糞の効用、馬乱酒(アイラグ)、珍客、風呂事情など紹介したが、今回はその第2弾、つたない経験談が契機になって関心が増し、モンゴルの人々との繋がりが深まればと思っている。

1 モンゴルの気候—寒冷と乾燥—

モンゴルを東西に長い地帯に分けると、南の砂漠地帯(中国に近い)、北の針葉樹帯(シベリアに近い)と、国土の26%を占める中間の草原地帯になるが、草原地帯も西部山岳部を除き標高は1400~1600m、草丈の低い高山系の植物が多く観られる。観光目的のモンゴル訪問は7~8月に集中する。日本では真夏で蒸し暑さにウンザリだが、モンゴル高原の風は爽涼そのもので正に生き返る心地がする。真夏の日中は空気は澄み陽射しが強くにもなるが、日陰に入ると風が肌を撫で暑さを余り感じない。しかし、8月下旬には夜はストーブが恋しくなり1日の気温差は20~30度にもなる。11月~翌年5月頃までは、花が委む暇もなく鮮やかな色を残したドライフラワーになってしまうといった厳寒期を迎え、気温は零下40~50℃にもなる。

2 モンゴル人の人柄

鯉淵信一亜細亜大教授の著書「騎馬民族の心」の中で、モンゴル人の「おおらかさ」に関し触れられている。モンゴル人の多くは、日本人に過去にはあったが今は失ってしまった大切な心、祖先・上長を敬う、目下の者を労わる、約束した事を守る、物を粗末にしない等心の伝統文化をしっかりと持ち続けている。広大な自然の中での生活は、小さな事にくよくよしないで置かれている環境に自らを上手く取り入れ生活する。飛行機の遅れにヤキモキする我々の尺度で律する事は妥当性をかく。かといって、のんびりした性格であってもケジメは大切にする。大きい子は小さい子の面倒を良くみるし「いじめ」などは程遠い。

3 モンゴルの5畜

モンゴルでの遊牧の起源は定かでない。紀元前4世紀頃ともいわれているが、モンゴル高原では種々の民族の興亡があり、12世紀末には外蒙古でモンゴル系、トルコ系民族の抗争があり、何れも遊牧民であったと思われる。遊牧民の馬の飼育・利用に関しては周知されているが、他の家畜に関しての資料等はない。

10年前の統計(適正か否か不明だが)では、羊58%、以下山羊、牛、馬、ラクダの順になっている。

モンゴルの5畜とは馬、牛、ラクダ、羊、山羊を指す。馬、牛、ラクダが大型家畜で羊、山羊は小形家畜と称し何れも大切にしている。馬は遊牧民にとって一番の家畜で愛する家族の一員となっている。チンギス・ハンが統一した蒙古が嘗てユーラシア大陸を征服し得たのは、小柄で持久力のあるモンゴル馬の賜物ともいわれている。馬は移動の具となるとともに乳・肉は食糧となる。前回も触れたが春6月頃搾った乳から作る馬乱酒は、酸味はあるが栄養価に富みモンゴル人にとっては生活の必需品だ。モンゴルの子供は幼時から乗馬に親しみ、男女共6歳位で立派に馬を乗りこなす家事を手伝っている。羊は飼育家畜の中で一番数が多い。

毛は衣料やゲルを囲うフェルトに加工され、肉は食糧となるなど、モンゴルでは衣・食・住の全てに大きく関わっている。羊毛はモンゴルの貴重な外貨獲得源だ。

4 草原のトイレ事情

モンゴルのグル内にはトイレはなく、家の外は全部トイレといっても過言ではない。都市生活に慣れた旅行者は大いに戸惑うこと請け合いだ。

5 悠久の銀河を仰いで

大草原の大地に夜が訪れる。周囲に灯火一つない真っ暗な草地に寝転ぶと眼前に迫る星の大群に圧倒される。星座の知識があればと思うが、蜿蜒と地の果てまで流れる銀河が特に眼を惹き感動する。群星の中、明るく暗く移動して行く小さな星、それは打ち上げられた人工衛星であった。

モンゴルの人口約235万人。ウランバートルが首都。この地球と大自然、大宇宙の偉大さを体験させて貰える貴重な国が「モンゴル」と結んだ。

(記録 田中 寿)

懐かしの映画音楽 III

話し手 立川 富美代
司 会 大高 秀夫

話をする人：神戸生まれだが八王子の住人となって40余年。音楽を愛し八王子フィルハーモニー管弦楽団結成に尽力。ガールスカウト八王子連合会会長を勤め少女達指導で得たことは「まずやってみよう」。趣味は音楽のほか旅行。立川刺繍経営。

はじめに

このサロンでのテーマはパートIIIになる。今回も1950～1960年の映画音楽が中心だが、独断偏見、恣意嗜好に基づく選曲はご容赦のうえ、リラックスしてお付き合いの程を。

① 旅愁 (1950年アメリカ 主演ジョン・フォンテン、ジョセフ・コットン)

ローマからの飛行機がナポリに不時着し、アメリカの機械技師と有名ピアニストの出会いと別れの物語。イタリアの街並の背景が美しい。流れる「セプテンバーソング」は哀愁を誘う。ジョン・フォンテンはオリビア・デ・ハビランドと姉妹で東京生まれ。

② 夜霧の忍び逢い (1963年 ギリシャ モノクロ)

映画のストーリーは売春する女の話。タイトルバックに流れるクロード・チャリ作曲の同名の主題歌のギター演奏が心に残る。

③ 会議は踊る (1931年 ドイツ 主演リリアン・ハーベイ)

ナポレオンが失脚しウィーン会議が開催されロシア皇帝は大歓迎を受ける。皇帝に向けて花束を投げた手袋屋の売子クリステルと皇帝に恋が芽生える。ウェルナー・ハイマン作曲の逢引の酒場で歌う「新酒の歌」国賓館へ向かう馬車の中の「ただ一度だけ」は、当時の学生の流行歌となった。

④ 雨にうたえば (1952年 アメリカ 主演ジーン・ケリー、デビー・レイノルズ)

ストーリーは特になく歌とダンスを楽しむ映画だが、「SINGING IN THE RAIN」は大ヒットした。

⑤ ホワイト・クリスマス (1954年 アメリカ 主演ビング・クロスビー、ダニー・ケイ)

既に有名だった歌手とその戦友のちゃっかり者がコンビを組み第二次大戦後巡業に出る。旅先のホテルは元師団長の経営、雪が降らぬため客がなく閑散としていた。コンビは戦友達を召集し大クリスマスパーティを開催する。甘く切ない「ホワイト・クリスマス」は人を魅了する。

⑥ オズの魔法使い (1939年 アメリカ 主演ジュディ・ガーランド、作曲・主題歌・特別の部門でアカデミー賞受賞)

農場で暮らすドロシーは大竜巻に吹き上げられ落ちた所は魔法の国オズ。そこでの苦難の旅が続くが、旅の終わりに得たものは智恵、優しい心、勇気。登場人物は全て人間が演じるのでアニメと違う親しさ、楽しさがある。17才のジュディ・ガーランドの出世作であるミュージカルファンタジー作品。

「虹の彼方に (OVER THE RAINBOE)」は今でも映画音楽のスタンダード・ナンバー曲の一つ。

⑦ エデンの東 (1955年 アメリカ 主演ジェームス・ディーン、ジュリー・ハリス)

ジミーは1955年8月交通事故で死亡。没後にこの映画は日本封切りとなり、彼の主演作品はその後の「理由なき反抗」と「ジャイアンツ」のみ。

農家の2人兄弟の弟には父の愛がない。弟は別れた母を見出すが母はいかがわしい店の経営者。父はレタスの冷凍を目論み破綻、弟の出す金を受け取らず、弟は苦しさ悩みを兄の婚約者に打ち明けるが彼女を愛してしまう。母の存在を知った兄は軍人となり戦場に向かうが、それを見て父は脳卒中で倒れてしまう。兄

の婚約者に諭されて弟は父と和解する。 テーマ曲「エデンの東」の美しいメロディは、当時の音楽番組のNo. 1であった。

映画音楽のエピソード

「**荒野の決闘**」のラストシーン。 保安官ワイアットアープとクレメンタインの別れのバックに「オーマイダーリン」が流れる。 映画を観た婦恋村の旅館主は何故「山よ岩よ…の雪山賛歌が」と不思議に思ったが、後にアメリカ民謡のメロディと知る。

今迄に一番印象に残った映画と曲名のアンケートを求め、それを話題にコミュニケーションが弾む。 映画の良い場面でのカットに各所でさざめきが起こり、昔の若い時代に戻って感無量、感嘆しきりのサロンであった。

(記録 **松本 一夫**)

小笠原列島の自然と生きもの

話し手 石井 實
司 会 小林 貞男

話をする人：元国民金融公庫(現国民生活金融公庫)支店長。 昭和63年東京都商工会連合会へ出向、職務で小笠原を2度訪島。 園芸、写真、旅行が趣味、モットーは思いやり。

はじめにーお詫び

本来の担当者川津会員が体調不良で入院中のため2週間前急遽決まったピンチヒッター。 川津会員の資料があればその意図する「夢の世界にお誘い」する手助けをと思ったのだが提供もなく、短期間の資料収集ではテーマに合致する満足できるものもなかった。 レジュメは主として小笠原協会編集の文献を基に作成、目を通せばある程度小笠原の輪郭が掴めるようにしたつもり。 約10年前の訪島時を思い出しながら2本のビデオテープで小笠原の一端でも伝えることが出来たらと思っている。

1 小笠原諸島(列島)の位置と歴史

小笠原諸島は南方海洋上の幅広い緯度・経度の中に存在し、北から賀島(賀、嫁、媒等の島名)、父島(父、兄、弟等の島名)、母島(母、姉、妹等の島名)及び火山(硫黄島)の4列島と3孤島(その中の沖の鳥島は最南端の日本領土)により構成されている。 東京の南約1,000kmにあるのが父島、父島母島間約50km、賀島と父島は約70km離れている(東京硫黄島間約1,200km)。

面積は一番大きい父島が23.80Km²(千代田区の約2倍)、母島20.21Km²(北区と略同じ)、因みに硫黄島は23.16Km²である。 気候は、父島で年間平均気温22.9℃(夏期平均27.1℃、冬期平均18.4℃)、年間降雨量は東京より稍少ない1,260mm位で、亜熱帯性である。 梅雨は1ヶ月早い。

伝承によれば1593年信州深志城主の孫小笠貞頼により発見されている。 1675年と1861年に徳川幕府は小笠原探検調査を実施しているが、その間に英国戦艦やペリー提督の来島、1830年には米国人並びにハワイ島民が定住との記録もある。 国際的に日本国帰属が認められたのは明治9年、この時37名の移民開拓団を派遣している。 島民は増加しピーク時7,700余人となったが、太平洋戦争激化で昭和19年全島民6,886人内地等へ強制疎開。 昭和20年8月敗戦により米軍直接統治となる。 昭和43年6月小笠原返還される(沖縄返還は昭和47年5月)。 昭和44年小笠原諸島復興特別措置法制定、翌年復興計画決定。(何れも時限立法だが延長されている)

2 交通手段

東京竹芝からの船便のみ。 東京父島間の定期航路開設は昭和47年(父島母島間は昭和51年)、島民の生活安定化のための航路であり生鮮品には輸送費補助制度があるほか、前のおがさわら丸3553tには一番揺れの少ない船室が島民用に提供されていた。 目的から当然娯楽設備など無く、途中黒潮を横断することもあり片道28.5時間の船旅は、地球が丸いことを実感した思い出のみ。 平成9年3月就航の新おがさわら丸は6,679t(定員1,031人で前船と不変)は船足も早くなり片道25.5時間、パンフによればカラオケルーム設置など居住性、快適性は向上しているよう。 定期船は通常父島碇泊3日、この3日と2時間余が滞在時間、母島迄足を伸ばすには綿密な計画が必要となる。 最低6日は必要の日程だ。

3 人口・産業・生活

戦後の昭和21年欧米系旧島民のみ129人帰島許可。 返還時島民181人、平成10年2月1263世帯2302人。 このうち公務員等転勤定住族2~3割、欧米系子孫を含めた同島民、新規参入島民で構成されている。 政府の復興計画により居住許可地は父島母島のみ。

小笠原は海底火活動の隆起、沈降により形成された島。平地や砂浜は少ない。戦前母島の夏野菜は収穫が早く東京への出荷もあったが、戦後農地は荒廃、未だ島内需要の一部に応ずる程度。昭和60年根絶確認とはいえミカンコミバエが農業復興に与えた被害は甚大で、また食用と誤認し移入したアフリカマイマイ駆除に今も苦戦中である。魚も殆どは漁協経由で東京方面へ出荷。従って島民の生鮮食品は定期船で東京より持ち込まれ、着船日の1〜2時間スーパー等は戦場化する。村おこし産品としてラムリキュール、パッションリキュールがあるが市販力今一歩。運が良ければ青海亀の珍味にありつける。テレビは以前衛星放送のみ受信可だったが、平成8年地上波テレビ放送も開始されている。緊急時の医療態勢は患者の搬送を自衛隊の水陸両用飛行艇に要請（年30〜40件）。

4 自然

東洋のガラパゴスともいわれる小笠原は大陸と一度も地続きになっていない。動植物は独自に進化したもの多く、植物では40%が固有種。光るキノコ「グリーンペペ」や東京に持ち帰っても葉の縁から芽の出る「ハカラメ」は観光資源。鳥類、昆虫類、陸貝類に天然記念物指定種多く、父島では絶滅したが現在世界で母島だけに生息するメグロは特別天然記念物。父島でスズメの姿を見ずメジロは多い。海は綺麗でサンゴや熱帯魚の数多く、季節によりホエールウォッチングも出来る。

村役場製作ビデオ「小笠原」と(財)世界自然保護基金日本委員会製作の「ホエールウォッチング小笠原編」を鑑賞し、地図により父島の観光スポットを紹介。

Q：キャンプ禁止理由は？

A：自然、美観保護と 水や場所がないー小笠原の地価は高額。

Q：本州のメジロと同じ？

A：固有種との文献なし。硫黄島利島には亜種生息。

そのほか、欧米系の島民居住は不知だった、小笠原を訪ねてみたい、との感想もあった。

(記録 大串 延子)

音楽と映像による東欧二都物語

ープラハとワルシャワー

話し手 平原 俊彦

司 会 立川 富美代

話をする人：八王子の生まれ。元コロムビア(株)理事。洋楽部長・文芸部長・レコード・国際本部長等歴任。

「人間萬事塞翁馬」が好きな言葉で、好きな歌は蒲生氏郷の「限りあれば吹かねど花は散るものを心短き春の山風」。音楽を聴くこと、映画を観ること、本（歴史・旅）を読むことが好きで、当会での国際派のひとり。

東欧へは仕事で度々行ったが、最近では北欧・東欧を訪ねる日本人が漸増している。昔、商社マン仲間では「花のワルシャワ、雷のプラハ、せめて行きたやブタベスト」といわれていた。プラハは中世以来の様々な建築様式が良く保存使用されている都市で、魔法の都、黄金の街、百塔の街などと称賛されている。ワルシャワは曾って「東のパリ」ともいわれていたが、第二次大戦時ドイツによる徹底的破壊に遭うも戦後市民の努力により見事に復元された街である。両市ともユネスコ世界文化遺産に登録されている。

悲しき軍歌集から森繁久弥が歌う「ポーランド回顧」を紹介。♪淋しい里に出でたればここは何処と訊ねしに 聞くも哀れやその昔 滅ぼされたるポーランド♪ この長い詩「騎馬旅行」の作者は、八王子小仏の関の関守、落合家の養子となった国文学者落合直文である。

ドイツ、ロシアに挟まれた平坦な地ポーランドの歴史は悲劇的だ。隣国の介入による分割が繰り返され国家は消滅、ロシア革命後独立の機会を得るも第二次世界大戦でドイツに侵略され、戦後の国民統一政府は共産党独裁体制であった。社会主義体制の崩壊は1989年。

ボヘミアとして栄えたチェコも戦いに破れ、ハプスブルグ家属領を経てオーストリアに帰属（1749年）。18世紀末に反オーストリア民族復興運動が起こり、スメタナ、ドボルザーク、ヤナーチェク等の国民楽派が活躍する。第一次世界大戦によりチェコスロバキア独立するも英仏独伊のミュンヘン協定で解体となる。第二次世界大戦後再び独立し、共産党政権が支配、1968年プラハの春事件発生する。ベルリンの壁崩壊後、民主化運動拡大し1989年ビロード革命により共産党独裁が倒れ、1993年チェコとスロバキアが分離独立する。

ショパンのピアノ練習曲「革命」が流れる。作曲したのは1830年ショパン20歳、この時期にポーランドでは革命機運が高まり蜂起するも失敗、ロシアに併合されてしまう。

スメタナ作曲交響詩「わが祖国」全6曲の2番目「ヴォルターヴァ(モルドウ)」は耳慣れた馴染みの曲。自然にゆったりしたリズムを刻むが、この頃スメタナは聴覚を失っている。毎年5月12日開催の音楽祭プラハの春では、国歌とわが祖国全曲が会場に流れている。

ドボルザークの「スラブ舞曲第2番」は、流麗な、時としてリズムカルな弦楽器の響きに、スラブ地方の舞踊が防御され心に染みる(映像併用)。黒沼ユリ子のヴァイオリン演奏と中世の美しい街並みをバックにしたドボルザークの「ユーモレスク」は、ロマネスクやバロック、ロココ調など様々な様式の建築物の巨大な博物館にいる心地に誘う(映像併用)。チェコフィルハーモニーによるスメタナ作曲「売られた花嫁」序曲の早いリズムは、若者達のスラブ調ダンスに興ずる姿を脳裏に浮かばせる。「フィガロの結婚」で人気を博したモーツァルトは、プラハをこよなく愛し「交響曲38番プラハ」を作曲した。彼がプラハで作曲、初演したオペラ「ドン・ジョバンニ」から「カタログの歌」を映像で鑑賞。花から花へ、蝶から蝶へ、理想の女性を求める放蕩男の女遍歴、滑稽にして素晴らしい歌声に会場がざわめく。

映画「コリア・愛のプラハ」。チェコの初老のチェロ弾きとロシア人女性（5歳坊や持ち）が偽装結婚。女性性は自由を求めてドイツへ亡命。残された坊やとチェロ弾きは生活を通して親子純愛醸成。ベルリンの壁崩

壊後女性は戻り、チェロ弾きは坊やと血涙の別れ。感動的物語であり、流れる音楽は交響詩「わが祖国」の5番目「ターボル」であった。

大天才音楽家ショパンはワルシャワ郊外で誕生するも、20歳でウィーンに行き、ポーランドへは帰らず欧州各地を転々、1849年パリで死去(39歳)。墓はパリに在るが、遺言により心臓だけは姉がワルシャワに持ち帰り聖十字架教会に埋葬した。ピアノ演奏「別れの曲」にうっとり聴き惚れる。

バタシェフスカ(27歳で夭逝)23歳の作品「乙女の祈り」は、繊細、華麗なピアノ曲。大ヒットした曲であり陶醉する。

バリトンの独唱で聴くレジスタンスソング「君に逢いにもう来られない」。死を覚悟しての恋人との離別、逢いたくなったら自分の血の流れた大地にキスを。イタリア人以外では初めての現ローマ法皇ヨハネ・パウロⅡ世はポーランド人、ポーランド訪問時空港で大地にキスをした。歌と説明を聞いて「あ、そうだったのか」と改めて認識させられる耳慣れたもので、原語が判らずとも心に響き染みる歌。

梅木松助会員が東欧外遊時撮影したプラハ、ワルシャワのビデオを観賞する。プラハ城から俯瞰した旧市街地の街並みは、正に百塔の街、黄金の街そのものの景観だ。画家ミュシャや「変身」で有名なカフカの生家、歴史的なモルドウ河のカレル橋、その両側の30聖人像等々中世そのままの佇まいを見せていた。

密度の濃い、豊富な内容に感動と陶醉が残る。音楽、美術、文学、建築、文化等々何れも厳しい辛い歴史の中で創造されたことを今更ながら再認識、再確認したものであった。

(記録 西志村 光治)

美しく老いるために

話し手 近藤 泰雲

司 会 浜野 幸雄

話をする人：長野県飯田市出身。長年全国公立高等学校等事務長会幹部としてその運営に当たってきたが、定年を控え曹洞宗僧籍に入った稀有の人。「唯佛是真(聖徳太子遺言)」の信条に生き、飯田在某寺の住職も務める。茶の湯を愛し「いちよう祭り」では茶席の亭主でボランティア。客人と人生訓を交えつつ歓談することが喜びと。

手鏡を持参することと意見開陳の準備をあらかじめ呼びかけるユニークな集いであったが、先ずお説法。

生きとし生けるものは、一年毎に老いるが、同じ老いるものなら、美しく老いたいものである。「うらをみせ、おもてをみせて、散るもみじ(良寛)」のように散りたいと願い、「与生」(余生ではない)を美しく生き、美しく「死」にたいと思っている。そのためには、和顔・感謝・人のうえ申さず等々の徳目は当然のこと、歳をとったからこそ理解出来ることも少なからずあることを謙虚に受け止めたい。と説くと共に、去る2月14日博多港出帆の日本丸で台湾、フィリピン、ラバウルやミッドウエイ沖海戦の跡を巡って3月15日に帰った洋上慰霊祭のことに触れて、50数年前の激烈を極めた戦争を偲び、また、日本の伝統文化論の一端に触れて「母から出、母の背を見て育ち、母に帰る」我々の生きざまを説かれた。

このあと全員に「美しく老いるため」の決意表明開陳を求める。参加者は凡ね50代と60代の女性を中心であったが、「朝5時に起きて直ちに化粧をし、病氣しても身だしなみには心する」、「外見より内面の美を。こざっぱりしたオシャレを心掛ける」、「体力が伴い、気力が充実しなければ、美しくなれない」等々の意見が発表された。これらの意見に対して、年寄り故に求められる柔軟性や笑顔は財産、お返しを求めない心の持主の尊さなどを繰り返し説かれた。また参加者の一人が、日常の心得として、次のような話題を提供されたのも印象に残ることであった。「カキクケコ」が大切であるとし、(カン(感)動 キン(緊)張 クツロ(寛)ぐ ケツ(決)断 コウ(好)奇心 と覚えることにしていると……

例年の如くサロンの終わりの時間に、全員で日本人の心の歌を斉唱する。「美しき天然」「故郷」「四季の歌」など6曲。心に残る歌声の余韻とともに、「宗教とは心の在り様を極めること」と噛み締めつつ帰路に着く。

このサロンでの登場は今回で3回目。参加者の中には「近藤宗？」の信者と思われる方達の姿が多数見受けられる。恒例となったお土産の自家製「しおり」は今回2種類、頂いた「しおり」の文言は「**今日もよき日がありますように**」とあった。美しく老いるための必須条件であろう。なお、この「しおり」には自己の精進のため当初より通し番号を付している由だが、それには2304とあった。

(記録 向山 光春)

最近のカメラの楽しみ方 ーデジカメできれいに撮るにはー

話し手 下山 邦夫
司 会 岡田 尚

話をする人：岡山県出身。元オリンパス光学工業(株)取締役カメラ事業部長。「何故、どうして」という素直な疑問を持ち続けることを信念とする。趣味は囲碁、彫金、ゴルフ、カメラ。

現役時代はカメラの開発、設計を手掛けており、専門的知識は豊富である。第3回生涯学習サロンでは、「自働カメラの上手な撮り方」で登場し、撮影した沢山の写真の中には、必に止まった一瞬のイメージなど必ず良いものがある。カメラでは物事を写すのだが、心にイメージを把握して撮ることと説いた。その折、カメラもデジタル化の方向に進んでいるが、現時点では、同じ画質の写真撮るには、フィルムの方が低コストという話があった。では現在は？ 続編ともいえる今回は、デジタルカメラの特徴と撮影の仕方が焦点となった。

デジタルカメラは、パソコンと組み合わせると、更に楽しめる機能・特徴を持っている。

- ・すぐに見られる。
- ・カメラにもモニターが付いている。
- ・すぐプリント出来る。
- ・その場で確認出来るから失敗が防げる。
- ・インターネットで画像を送れる。
- ・保存、検索が容易。パソコンで管理すれば、多くの画像を保存して取り出すのも容易。
- ・はがき、名刺、シールなどアルバムだけでなく、種々な利用出来る。
- ・イラスト、合成、フォトタッチ、などが簡単。
- ・音声、文字などコメントが付けられる。
- ・動画、同時録音出来るカメラもある。

デジタルカメラの性能も進歩し、カメラの画素数が100万画素から、400万画素まで揃ってきて、画質が格段に向上している。画素数300万画素以上のデジタルカメラであれば、引き伸ばしてもアナログカメラと比較して見劣りしない綺麗な画像が得られる。

カメラからパソコンに画像データを移すには

- ①画像データの 入ったメモリーカードを、PCアダプターを介してパソコンに挿入する。
- ②カメラを直接パソコンに接続する。

等の方法がある。

メモリーカードはその記憶量に応じ、画像枚数が記憶出来る。64MBのメモリーカードには、200万画素のカメラで撮った場合、約120枚記憶出来る。メモリーカードの記憶容量には、8MBから128MBまでのものがある。メモリーカードには、スマートメディア、コンパクトフラッシュカード、メモリースティックの種類がある(カメラによって)

画像ファイルの保存、管理活用のための専用ソフトウェアを用いると更に楽しめる。そのソフトとしては、蔵衛門、デジカメde同時プリント、デジタルアルバムプラスなど、フォトタッチソフト(写真修正ソフト)としてはPhotoshopが知られている。写真の印刷には、インクジェット、熱昇華型の2方式と従来の印画紙に直接焼き付ける方式とがある。

以上、デジタルカメラについての説明の後、実撮影を行い、その画像を楽しむ。 屋内の人物撮影でサイドライトがある場合のフラッシュ撮影の仕方や、花など白の背景で撮影する場合の露出を+にする等の撮影技術についても、コーチを受けた。

参加者からは、どの程度のカメラを購入すれば良いのか、値段ほどの位するのか、写真専用紙の価格は等々、すぐにでもデジタルカメラを入手したい気持ちの籠もった質問が飛び出していた。

景気浮揚に貢献したサロンでは…………。

(記録 吉田 信夫)

さらりと乗り切る更年期

— 一中年からの男と女の良い関係を考える —

話し手 石田 雅巳

司 会 中野 義光

話をする人：東京都生まれ。元八王子保健所所長、産婦人科医。現在介護老人保健施設に勤務。日本性科学会「中高齢者のセクシュアリティ研究会」所属、同学会認定セックスセラピスト。オペラ・バレエ鑑賞が趣味。オペラに関しては造詣深く専門的。「無理せず、ありのままに、いつも暖かい心を持って」が信条。

日本は世界一の長寿国、中高年以後の長い人生を、男として、女としての生き方の質も含めてどうプログラムし、それにどうチャレンジするかは、各人に与えられた大きな課題である。最近、家庭内別居や定年離婚が問題にされる。その原因は種々あろうが、男女のセクシュアリティについての認識の差、特に男性の女性に対する理解不足が大きな原因と思われる場合が多い。

ライフステージを通して男女の差が最も大きいのはホルモンパターンである。中枢は脳の視床下部にあり、その指令は下垂体を経て卵巣(精巣)に働き女性(男性)ホルモンが分泌されるが、過剰な指令に対しては卵巣(精巣)から中枢に抑制がかかり、ホルモンサイクルは順調に回転する。女性では45才頃から卵巣の機能低下が始まり60才位でホルモン分泌が消失、排卵もなくなる(閉経、50才前後)。これが更年期で自律神経失調を主とした多彩な症状を来す時期であり、その急速な変化を副腎が補っている。男女ともピークは20才位だが、男性は緩やかに減少、80才過ぎまで分泌が続き、造精機能も残る。この時期の女性では、子育ても過ぎ、夫婦としても年輪を経て社会的には大体安定したが、経済的にもそれなりに負担が多く、夫の定年も近いなど、別のストレスが増え、体への不安も重なって「たそがれ感」を抱くようになり(空の巣症候群)、それがきっかけとなることが多い。

自律神経には、互いに対抗的に働く交感・副交感の2種類があり、殆どの臓器に分布して、その機能を正常範囲内に保っている。加齢によるホルモン低下は自律機能を失調させるので、発現するにも症状が多彩であり、「不定愁訴」といわれるように一定しない。治療として、卵巣・黄体併用のホルモン補充療法があるが何より大切なのは、周囲、特に夫の暖かい理解と心の支えである。

骨粗鬆症に触れると、骨はカルシウム(Ca)燐から成っている。女性ホルモンがCaの取り込みを助けるため、中年以降の女性に多いのである。食事(特にCa吸収率のよい乳製品、運動、日光浴の他ホルモン補充療法も有効である。Ca吸収を阻害するインスタント食品の摂取は控える。

男性の更年期も話題にされるが、男性ホルモン使用による活性化もあるとはいえ、生理的なものより社会的な要因による場合が多く、「今ある人生が自分にとって唯一のあるべき姿である」と肯定的に捉えることが必要と思われる。

更年期は人生を見つめ直す大切な時期であり、男と女がよい関係を保ちつつ、心の絆を更に強くするにはバリエーションのあるコミュニケーションが重要である。「性も含めて人間という」「男は呆れるほど女の性を知らない。そのくせ知っているつもりだから始末が悪い。女も男の性の特性を知らない」(奈良林祥)。

最近、女性が積極的に性を語った著作が多くなった。女性としてのアイデンティティの確認、生きることの証として性を追求する姿がみられ、逞しさ、したたかさが伺えて頼もしい。また、何事も知り尽くしたカップルにもセクシュアリティを豊かに演出するとエチケットが望ましく、たとえ小さくとも互いを思いやる心の積み重ねこそが素晴らしい老後の基礎である。

ウィーンの格言「おしゃれな心、優しさ、好奇心を失ったら、女を、男をそして人間をやめなさい」を終わりに

の言葉とされた。

「長年の夫婦の中でも、夫にも身嗜みをして欲しい」「性の会話には躊躇する」などの意見が参加者から出ていた。OHPを用い、臨床体験を通しての分かりやすい内容に、参加者の共鳴が得られたサロンであった。

(記録 松本 一夫)